

(数学Ⅱ) 学 習 指 導 案

					授業者	
学級	2年 1・2組 理型	教室	133教室	日時	平成 22年 6月 15日 (火) 1時限	
単元	第4章 三角関数			使用教科書	改訂版 新編 数学Ⅱ (数研出版)	
指導目標	1 弧度法を取り入れ、一般角の三角関数を定義し、基本的な性質を理解させる。 2 三角関数のグラフを描かせ、周期性などについての理解を深めさせる。また、方程式・不等式を扱う。 3 加法定理を導き、正しく使えるようにし、さらに三角関数の合成を扱い理解させる。			指導計画	第1節 三角関数 1 一般角と弧度法・・・2時間 2 三角関数・・・・・・・・・・4時間 (本時はその3時間目) 3 三角関数のグラフ・・・3時間 4 三角関数の性質・・・・・・2時間	

本 時 の 指 導

主題(教材)	三角関数の相互関係			
前時の課題	確認プリント			
目標	1 三角関数の相互関係の式を利用して $\sin\theta$, $\cos\theta$, $\tan\theta$ の1つの値から他の2つの値を求める。 2 各象限における三角関数の値の符号について理解させ定着させる。			
指導過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 事 項	評価の方法・規準等
	(導入) プリントにより三角関数の相互関係を確認する。	5	・三角関数の相互関係の式を正しく理解させる。	・関係式が定着しているか。 <知識・理解>
	(展開) 1 例題1の説明を聞く。 θ の動径が第3象限であり、 $\cos\theta = -\frac{3}{5}$ のとき、 $\sin\theta$ と $\tan\theta$ の値を求めよ。	10	・相互関係の式を用いて、1つの三角関数の値から他の三角関数の値を求める計算の流れをまとめさせる。 ・各象限における三角関数の値の符号について確認させる。	・関係式の利用方法に気づけたか。 <数学的な見方や考え方>
	2 練習8を解く。 3 例題2の説明を聞く。 θ の動径が第4象限にあり、 $\tan\theta = -2$ のとき、 $\sin\theta$ と $\cos\theta$ の値を求めよ。	10	・相互関係式のどれを用いるかを考えさせ、計算の流れを確認させる。 ・正負の値を判断する必要性を理解させる。	・関係式を正しく利用できているか。 <表現・処理>
	4 練習9を解く。	10	・正しく計算がなされているかを机間指導により個別に確認する。	・積極的に問題に取り組んでいるか。 <関心・意欲・態度>
(整理) 1 本時のまとめをする。 2 次時の内容確認をする。	5	・要点を整理させる。	・本時の内容が理解できているか。 <知識・理解>	
備考	学科・類型 (普通科・理類型) 男子 (21人) 女子 (15人) 計 (36人)			